

(様式1)

## 県立高等学校重点校制度に係る事業計画書

米子工業高等学校

重点項目	専門人材育成	提出日	令和3年2月4日
------	--------	-----	----------

1 学校目標
産業教育の拠点として、工業教育を推進し、地域社会・産業界を担っていく人材を育成する。そして、地域産業の維持・発展に尽くすなど、地域に貢献する人材を輩出することで、地方創生に寄与する。
2 重点項目に係る目標
1 米工の伝統を受け継ぐものづくり人材の育成 (1) クリーンエネルギーでSDGsにチャレンジする。 (2) 高校生ものづくりコンテスト中国大会で上位入賞し、全国大会出場を目指す。 (3) 新時代に対応するロボット等の製作に取り組む。 (4) 難易度の高い資格も含め、国家資格や検定試験で多くの合格者を出す。 (5) 将来の技能五輪活躍を見据えた技術指導をする。 (6) 産業界をリードする社会人としての規範意識を高める。
2 3年間の体系・系統立ったキャリア教育による進路意識の高揚 (1) インターンシップによって、生徒の社会的・職業的自立に向け、コミュニケーションなどの基礎的・汎用的能力を育成し、勤労観・職業感を自ら形成・確立できるようにする。 (2) 3年間を通して県内外企業見学を実施し、就労意識を高める。 (3) 卒業後の定着指導によって、高い定着率を維持する。
3 開かれた学校づくりの推進 (1) 小中学生が米工で実験・実習を体験する機会を作り、理解を図る。 (2) 小中学生を対象とした米工の出前授業を実施する。 (3) 生徒の地域に貢献しようとする意識を芽生えさせて育む。
<数値目標>
1 ジュニアマイスター取得者は卒業生の2割以上を目指す。 令和2年度ジュニアマイスター取得者 ゴールド 8名 シルバー 9名、ブロンズ22名 計39名
2 第2種電気工事士卒業時取得者7割以上を目指す。 令和2年度電気科・環境エネルギー科3年 第2種電気工事士取得者85%

(様式1)

<p>3 毎年度実施の学校アンケートで、以下の結果について、それぞれ80%以上を目指す。</p> <p>生徒対象「インターンシップは勉強になったし、充実していた」 令和2年度94.1% (令和元年度91.6%)</p> <p>生徒対象「自分は実習を通じて、技術・技能が身についた」 令和2年度97.9% (令和元年度97.5%)</p> <p>保護者対象「本校は、企業見学、インターンシップ等が充実している」 令和2年度95.6% (令和元年度98.3%)</p>
<p>3 事業計画 (事業名、事業概要)</p>
<p><b>【高等学校課事業】</b></p> <p>1 外部人材活用事業 (社会人講師活用事業)</p> <p>(1) LEDの応用について 環境エネルギー科において、外部から有識者を招き、最新のLEDについて、広告塔などの活用例や、照射角・消費電力など、従来品との違いに関する講義を受け、エネルギー問題の解決策についての知識を習得する。</p> <p>2 キャリア教育充実事業</p> <p>(1) 社会人となるための心構え 県外から講師を招き、社会の一員となるための心構えや在学中にすべきことについて講義を実施する。</p> <p><b>【独自事業】</b></p> <p>1 SDGsへの取り組み</p> <p>(1) チャレンジSDGs クリーンエネルギー事業に携わる技術者を講師として招き、社会におけるクリーンエネルギーの役割と自分たちにできることは何かを考え、SDGsの7番目の目標「エネルギーをみんなにそしてクリーンに」を実践する。</p> <p>2 ものづくり事業の充実</p> <p>(1) 高校生ものづくりコンテスト活動支援 将来の地域産業を担う人材育成に向け、各部門でコンテストの上位入賞を果たすために、年間を通じて技術・技能の向上をしっかりとサポートする。</p> <p>(2) 各種大会・課題研究への支援 ものづくりの対外的な大会への参加や加工技術向上につながる活動をしっかりとサポートし、生徒の学習意欲や技術の向上を図る。</p> <p>①WROレゴロボットの製作 レゴロボットを製作し、全国大会への出場を目指す。</p> <p>②1人乗りライトレースカーの製作 マイコンカーで学習した技術を活用して、実際に人が乗れる自動走行の車を製作する。</p>

(様式1)

③マイコンカーの製作

マイコンカーを製作し、マイコンカーラリー全国大会への出場を目指す。

④空気圧エンジンの製作

熱力学や流体力学の学習を通し、環境に配慮した空気圧エンジンの製作に取り組む。

⑤アイデアロボットの製作

与えられた課題をクリアするためのロボット製作を行い、全国高等学校ロボット競技大会へ参加する。

⑥レスキューロボットの製作

救助用ロボットを製作し、大会に参加する。

⑦電気自動車（電動カート）の製作

4年間の計画でガソリン車に変わる人が乗ることができる電気自動車を製作する。令和3年度は2年目。

⑧ソーラーラジコンカーの製作

太陽光を利用したソーラーラジコンカーを製作し、全国ソーラーラジコンカーコンテストへ出場し、最新技術の習得を図る。

(3) 技能五輪出場を目指す人財づくり

ものづくりの優秀な担い手を育成するため、最先端を走る企業で研修し、高レベルの技術・技能を習得する。

3 専門的資格取得の推進

(1) 資格取得に対する支援

機械加工技能士（普通旋盤作業）と電気工事士の資格取得（電気科・環境エネルギー科）に対する支援

4 キャリア教育による進路実現

(1) 工業高校における授業改革

①指導力向上に向けた講習会への参加

生徒の知識や技術・技能の向上及び資格取得の推進を図るため、教職員がさまざまな分野で新たな技術や資格取得に関する研修に参加して、指導力を向上させる。

②校内研修の充実

授業実践や教育に関する学びをWeb動画サイトを活用して校内での研修を可能とする。

(2) インターンシップの実施

2年生全員に対して各科の特性に沿った企業への就業体験を行い、職業人としての心構えや姿勢について学ぶ機会とする。また、企業現場での実習を通して実用的な知識や技術に触れ、学習意欲の向上を図る。

(様式1)

(3) 進路学習の充実

① 1年生 県内企業研修

地元企業で現場研修を行い、産業界に対する認識を深め、進路選択に明確な目標を立てるための一助とする。

② 2・3年生 県外企業研修

関西・東海方面の企業で研修を行い、企業における専門的かつ実用的な知識や技術・技能を見聞し、勤労観・職業観を生徒自らが形成・確立するための一助とする。令和3年度に限り、前年度に実施できなかった3年生も対象とする。

※枚数任意